



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Weekly Report

RI 会長テーマ Reach Within to Embrace Humanity

クラブ会長テーマ 己を理してクラブと社会に貢献しよう

第 2079 回例会

日 時 : 平成 24 年 2 月 1 日

会 場 : 例会場

司 会 : SAA

近藤委員

開会点鐘

関 会長

斉 唱 : 国歌斉唱

ロータリーソング「我等の生業」

四つのテスト

お客様の紹介

関 会長

内山 肇様 (東京国立白うめ RC)

会長報告

関 会長

●2011-12 年度 第 2 回会長・幹事会のご案内

日 時 2 月 22 日 (水) 14 時～17 時

出席者 関会長 木島幹事

場 所 ザ・プリンスパークタワー東京

●多摩中グループ 協議会開催のご案内

日 時 3 月 12 日 (月) 18 時 30 分

出席者 関会長 木島幹事

場 所 国分寺 ボンジョルノ

●2012-13 年度 地区チーム研修セミナー 開催のお知らせ

日 時 2 月 13 日 (月) 13 時 30 分

出席対象者 吉野青少年交換委員・村上 R 財団委員

場 所 目黒雅叙園

●地区 ポリオ撲滅広報イベント「END POLIO NOW」ご協力をお願い

2 月 20 日 (月) 18 時 六本木ヒルズにEND POLIO NOW」

文字を点灯、引続き 東京六本木ロータリークラブ主催のチャリティパーティを開催、チケット代は 8,000 円、ポリオへの寄付 1,000 円を含みます

申込は 2 月 15 日までに事務局へお願いします

幹事報告

木島幹事

●2 月のロータリーレートは 1 ドル 78 円です

●今後の予定

2 月 8 日 (水) 卓話 小澤崇文会員

「震災から 8 ヶ月 その今を尋ねて」

2 月 10 日 (金) 中学生と留学生の交流会

2 月 15 日 (水) 卓話 白神純一国立市商工会青年部長

「東京都商工会連合会青年の主張大会の話」

2 月 22 日 (水) 2/23 地区大会に振替

2 月 29 日 (水) 観梅会 国立白うめ RC と合同

委員会報告

●喜連新世代委員長

1/18 ポスター展の撤収に多くの会員の方にお手伝いをいただき有難うございました。

2/10(金)の第三中学校での中学生と留学生の交流会にご参加いただける会員の方は事務局へご連絡ください。メイクアップ扱いです。

●宗村職業奉仕委員長

3/21 国立天文台見学会を予定しています。詳細は 2/8 の例会後の炉辺で決めます。委員の方はよろしくをお願いします。

●世界大会参加クラブの世話役 村上会員

タイで 5 月に開催される世界大会に行かれる方はお申し出ください。ホテル・飛行機など、一緒に手配をできるように準備をしています。



R. I. 第 2750 地区 多摩中グループ

東京国立ロータリークラブ

会 長: 関 重 寿

幹 事: 木 島 常 明

例 会 日: 毎 週 水 曜 日 例 会 場: 谷 保 天 満 宮 社 務 所 2 階 東 京 都 国 立 市 谷 保 5209 TEL042-576-5123

事 務 所: 東 京 都 国 立 市 中 1-9-36 KK ビル 4F TEL: 042-575-0770 FAX: 042-572-8666

E-mail: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp

U R L: http://kunitachi-rc.com/

会 報 委 員: 遠 藤 直 孝 山 口 康 雄 岡 本 貞 雄 辻 伸 敏

●遠藤(直)ゴルフ同好会幹事

第3回クラブ幹事杯は、多摩中グループの震災義援ゴルフ大会に抱き合わせにすることにしました。是非、参加をお願いします。

クラブフォーラム

理事会報告

関 会長

●米山奨学生のカウンセラーに、喜連元昭会員を選任いたしました。

●東京小金井ロータリークラブより ポリオチャリティゴルフ大会共催のお願いについて

RIによるポリオ2億ドルチャレンジは達成されましたが、ポリオ撲滅に向けて、共催することにいたしました。

●観梅会について 国立白うめ RC と合同で行います。詳細は配布済み

●三田浩一会員より出席免除願いが出ましたので、承認いたしました。(ロータリー歴と会員年齢を合わせて85年以上)

●震災復興支援について 岡本(貞)担当委員長

東日本大震災復興支援の、当クラブとしての取り組みについては、宮城県岩出山RCの皆川パストガバナリーに支援先の紹介をお願いしておりましたが、まだ返答がありません。

そこで、ロータリーのブログに掲載されている支援依頼の中から、岩手県大船渡西RCが進めている、大船渡市復興の「愛の鐘」モニュメントのことで知りました。ブログの支援依頼には、漁港関係では「作業小屋」「うき玉」「発電機」、仮説住宅からは「長靴」などがありました。後世に残るものに支援した方が有意義だと考え、「愛の鐘」制作に支援していくことを理事会で確認しました。ただし、皆川さんルートを断ったのちと、いうことになりました。

大船渡市民は、大震災によって420余名の尊い命を奪われました。「愛の鐘」は犠牲になられた人々の安らかな冥福を祈るとともに、残された家族、友人、知人、市民一人ひとりが、3月11日の大震災を忘れない、風化させないためにも、発生時の午後2時46分に「復興・愛の鐘」を鳴らすことに意義があると考えています。(ブログより転載、一部添削)

また、大船渡西RCでは、会員44名でしたが、津波により1名の会員が亡くなりました。また、事業所や自宅など、会員の80%が全壊・半壊の被害に遭いました。クラブの事務所や例会場も跡形もなくなり、3月10日の例会以降2カ月半にわたって休会せざるを得ませんでした。(第2520地区「ガバナリー月信」より転載)

「愛の鐘」参加協力の詳細は号外で特集します。

今月の各種お祝い

杉田親睦活動委員

■入会記念月

関 栄一 会員 (在籍43年)
津戸 最 会員 (在籍36年)
小澤 孝造 会員 (在籍38年)
高柳 栄造 会員 (在籍37年)
時田 千弘 会員 (在籍29年)
岡本 正伸 会員 (在籍16年)
木島 常明 会員 (在籍7年)
北島 正典 会員 (在籍2年)



■会員誕生日

小川 誠 会員 (4日)
佐藤 勝則 会員 (26日)

■夫人誕生日

高 世 会員夫人・紀子様
井 上 会員夫人・道子様
内 山 会員夫人・幸子様
関(重) 会員夫人・雅子様
伊藤(一) 会員夫人・恵美子様



▲2月誕生月の佐藤会員

ニコニコBOX

小澤(崇)親睦活動委員長

●内山肇様(東京国立白うめ RC) 初めての Make up です。ロータリークラブに入会し1年がすぎました。今後ともよろしくお祈りいたします。

●関会長 妻の誕生月の記念品有難うございます。だいいい年になりましたので来年には辞退したいと思っているのではないのかなと思っております。確認しておきます。

●木島幹事 皆さんの仲間入りをしてから7年が経ちました。「ロータリー活動」なるものを勉強しながらの夢中な7年間でしたが、やっと馴れてきました。今後ともよろしくお祈りいたします。

●高世会員 今月は私共の結婚月と家内の誕生日です。45年の長いこと、よく持ちました。これからも仲良く過ごしていきます。どうぞよろしくお祈りいたします。今日はお祝いをいただきありがとうございます。

●内山会員 妻の誕生祝、ありがとうございました。

●伊東会員 結婚月のお祝いをありがとうございます。(戴きました真珠のネックレス早速つけてみました。いかがでしょうか)

●小澤崇文会員 結婚記念のお祝い有難うございます。前世紀の事になります。

ニコニコBOX 合計15,000円 累計858,000円

出席報告

高世出席委員

2月 1日 在籍48名中 出席43名

前々回(1月18日)の 出席率95.74%

閉会点鐘

関 会長

岩手県大船渡市「愛の鐘」の制作を支援

■東日本大震災復興支援委員会について

昨年の3月11日に発生した東日本大震災で地区は、義援金の協力を各クラブに呼びかけました。その結果、地区全体（PBG地区を除く83クラブ）で10,875,9449円もの金額が寄せられました。

その用途については、地区からは十分な説明は聞いていませんが、結果的に「義援金の半額は地区からの支援に活用したので、半額は各クラブで支援活動に使ってください」ということになりました。

さらに、地区では各クラブに対し「東日本大震災復興支援委員会」の設立を促しました。それを受けて当クラブでは11月の理事会で私が任命され、具体的な支援活動を検討していました。

■復興支援金

当クラブが震災後、地区の要望に応じた義援金の総額は110万円（第1次募金10万円、第2次募金100万円）です。その内の半額のA資金（55万円）がクラブの支援に活用できます。

内容によっては、復興支援プロジェクト地区支援金を申請（第1次締切り2月9日、第2次3月31日）することで、当クラブの場合で300万円程度の支援事業ができるといいます。それには面倒な手続きと審査があり、事業の内容によっては支給されないこともあると聞きます。

具体的にこの情報が伝えられたのは、1月16日に開催した多摩中グループの会長・幹事会の際だったので、それから支援先を検討し、支援金を算出して期限内に申請書を出すのは中々困難なことです。

しかし、当クラブは300万円規模の支援活動を目指して支援先を探そうとしました。そしてR1第2520地区（岩手県・宮城県）でガバナーを経験された皆川氏（宮城・岩出山RC）に支援先の紹介を依頼しました。



▲大震災の爪痕を残す大船渡市

■支援先を探す

皆川氏には電話と書面で依頼しましたが、2週間経っても支援先の紹介がなかったので、クラブ独自で探すことにしました。

インターネットの復興支援ブログには、被災地の団体や個人から希望する品のリストが載っています。

ある避難所では「長靴が欲しい」とか、ある漁業組合では「作業小屋が必要」などがありました。

その中に、岩手大船渡西RCが進めている「鎮魂・愛の鐘設置プロジェクト（仮称）」があったのです。

■愛の鐘設置プロジェクトを支援

岩手大船渡西RCでは、フランスの第1710地区から「鐘を作成して贈りたい」という申し出を受けて、愛の鐘設置を思いついたようです。

すでに設計図（右上の図）の見積り（約2千万円）もできていて、2年後の完成に向けて着々と作業が進められています。

この事業がロータリーの提唱プロジェクトであることで、今の段階から、いくつかの地区やRCから資金援助の申し込みが寄せられています。

■いくら資金援助できるのか？

当クラブでは、現在73万円の支援が可能で、その内訳は、A資金55万円、市民祭（磯辺焼き）の利益79,055円、東京国立ローターアクトクラブ預金残約8万円、その他（卓話講師寄付）2万円です。この金額で資金援助するか、それとも切りのいい金額にするか、今後会員に図って決めたいと思います。

■「愛の鐘」設置支援の意義

鎮魂・愛の鐘のモニュメントは、8mのステンレス製の柱に、鐘が2か所はめ込まれ、土台部分にロータリーマークが入ります（完成後は大船渡市に寄贈される）。

毎年、3月11日午後2時46分に、愛の鐘を鳴らし、犠牲になった420余名の冥福を祈るとともに、大震災を風化させないためにも、愛の鐘設置プロジェクトに参加協力することは意義のあることだと信じます。（東日本大震災復興支援委員長・岡本貞雄）

